

## 第2回あり方検討会とりまとめ

平成 29 年 9 月 20 日

### 検討結果

#### 【当面の課題】について

○ダブルパイロット制をはじめとする「更なる安全対策」と、当面の間、民間航空会社からの機体借り上げ及び操縦士等の派遣について、県において着実に進めていくことに。

#### 【中長期的な課題】について

○新機体の購入、継続的な操縦士の確保、山岳救助のあり方については、引き続き、県、消防本部、市町村、県警の関係機関で検討し、改めて「あり方検討会」に諮った上で方向性を固めていくことに。

#### <主な意見>

- ・安全対策は、今後、県において着実に進めて欲しい。その上で消防本部も一体となって活動再開に取り組む。
- ・本日、示された「安全対策」は、国で考えている安全対策の方向性と同じ。今後もお互いの情報共有をしていきたい。
- ・山岳救助は、県警へりだけでなく消防へりも必要。ただし、しっかりと訓練を積みながら段階的に行ってほしい。
- ・自前のへりと自前の操縦士は、複雑な地形・気象を有する長野県に必要。県において、へりの購入に係る調査を進めて早めに方向性を出してほしい。